

年 組 (番) 名前

記入日 月 日

編集手帳

ゴリラの顔は、指紋ならぬ鼻紋で見分けがつくのだという◆解剖学者の養老孟司さんが自著「ヒトの見方」(ちくま文庫)で、生物学者ジョージ・シャラー氏が発見した識別法を紹介している。妙な絵が16個描かれていて、それが鼻なのだ。四角い穴、丸い穴。しわがTやXに見えるものもあり実に多様である◆人の識別は基本中の基本だ。今年も感染防止対策でマスクを手放せない一年だった。知人とすれ違い、しばし気づかず札を失うことたびたび。顔の下半分で、いかに見分けてい

たのか改めて知らされた◆バカな発言をしてしまい、相手は苦笑しているのだろうかと目をのぞきこんでも、口ほどには物を言ってくれない。マスクを外すことが人前で下着を脱ぐのと同じで恥ずかしくなり、「顔パンツ」との呼び名もあるとか。やれやれだ◆養老さんは、皆の顔が、見分けがつかないほど似ていれば社会生活はどうなる?と問いかけ、答えを示した。「例えばへその形が干差万別であることとはかなり確かだから、人類は顔のかわりにへそを出して歩くようになったらどう?。来年こそはマスクを外して歩きたい。

◇「編集手帳」: 読売新聞朝刊に毎日掲載されているコラム(短い読み物)

(2021年12月27日 読売新聞朝刊より)

1 マスクを言いかえた表現を4字でぬき出しましょう。

--	--	--	--

2 次の文に書かれている内容は次の①~④のどれにあたりますか。それぞれ適切なものを選び、番号を書きましょう。

① 筆者の意見 ② 筆者の経験 ③ 一般的な事実 ④ 本などからの引用

- ・「ゴリラの顔は、指紋ならぬ鼻紋で見分けがつくのだという」 ()
- ・「今年も感染防止対策でマスクを手放せない一年だった」 ()
- ・「顔の下半分で、いかに見分けていたのか改めて知らされた」 ()
- ・「来年こそはマスクを外して歩きたい」 ()

3 記者が傍線部「例えば~だろう」という言葉を引用し、伝えたかった内容として、適切なものを選び、番号で答えましょう。

- ① マスクをつけたままでは暑いのに、人類がへそを出して歩かないことを批判すること。
- ② 人の顔は重要な部分なので、かくして歩くのは不自然なのだと改めて感じてもらうこと。
- ③ 歩くときに見えていなければいけない部分は顔ではなく、へそなのだととうたえること。
- ④ ゴリラの鼻のように、人も個人を識別できるへそを研究するべきだとうながすこと。



編集手帳

ゴリラの顔は、指紋ならぬ鼻紋で見分けがつくのだという◆解剖学者の養老孟司さんが自著「ヒトの見方」(ちくま文庫)で、生物学者ジョージ・シヤラー氏が発見した識別法を紹介している。妙な絵が16個描かれていて、それが鼻なのだ。四角い穴、丸い穴。しわがTやXに見えるものもあり実に多様である◆人の識別は基本中の基本だ。今年も感染防止対策でマスクを手放せない一年だった。知人とすれ違い、しばし気づかず礼を失うことたびたび。顔の下半分で、いかに見分けてい



たのか改めて知らされた◆バカな発言をしてしまい、相手は苦笑しているのだろうかと目をのぞきこんでも、口ほどには物を言ってくれない。マスクを外すことが人前で下着を脱ぐのと同じで恥ずかしくなり、「顔パンツ」との呼び名もあるとか。やれやれだ◆養老さんは、皆の顔が、見分けがつかないほど似ていれば社会生活はどうなる?と問いかけ、答えを示した。「例えばへその形が千差万別であることとはかなり確かだから、人類は顔のかわりにへそを出して歩くようになったらどう?。来年こそはマスクを外して歩きたい。

人前で外すのが恥ずかしくなってしまうものなので、「パンツ」という言葉ができたようです。

1 マスクを言いかえた表現を4字でぬき出しましょう。

顔 パン ツ

「～という」「～そうだ」「～とある」などの文末表現は「引用」や「伝聞」で使われます。「～したい」というのは筆者の「希望」や「願い」です。

2 次の文に書かれている内容は次の①～④のどれにあたりますか。それぞれ適切なものを選び、番号を書きましょう。

- ① 筆者の意見 ② 筆者の経験 ③ 一般的な事実 ④ 本などからの引用

- ・「ゴリラの顔は、指紋ならぬ鼻紋で見分けがつくのだという」 (④)
- ・「今年も感染防止対策でマスクを手放せない一年だった」 (③)
- ・「顔の下半分で、いかに見分けていたのか改めて知らされた」 (②)
- ・「来年こそはマスクを外して歩きたい」 (①)

前半部分に「人の識別は基本中の基本だ」とあります。それなのに、顔をかくすと人の見分けがつきません。

3 記者が傍線部「例えば～だろう」という言葉を引用し、伝えたかった内容として、適切なものを選び、番号で答えましょう。

②

- ① マスクをつけたままでは暑いのに、人類がへそを出して歩かないことを批判すること。
- ② 人の顔は重要な部分なので、かくして歩くのは不自然なのだと改めて感じてもらうこと。
- ③ 歩くときに見えていなければいけない部分は顔ではなく、へそなのだとどう伝えること。
- ④ ゴリラの鼻のように、人も個人を識別できるへそを研究するべきだとうながすこと。

読んでみよう！

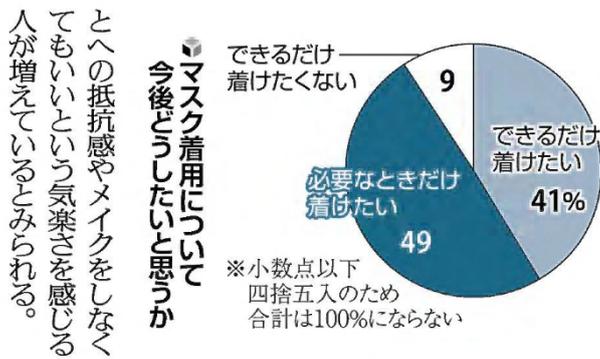
◆ミー太郎のおすすめ記事

マスク「今後も着用」41%

読売新聞社の全国世論調査で、新型コロナウイルス対策のマスクを今後どうしたいと思っかを尋ねると、「できるだけ着きたい」が41%を占めた。「必要などきだけ着きたい」は49%で、「できるだけ着けたくない」は9%だった。

政府は5月、屋内でも人と2m以上離れていてほとんど会話しない場合などはマスクを不要とする見解を発表したが、場面に
にかかわらず「マスクを外したくない人」が多数いることがわかった。
特に女性は「できるだけ着きたい」50%が「必要などきだけ」45%を上回り、男性の「できるだけ着きたい」32%、「必要などきだけ」55%と比べて着用を続けた人が多かった。
コロナ禍の長期化でマスク着用が日常的になり、感染防止目的だけでなく、素顔を見せるこ

「着けたくない」9%



(2022年6月6日 読売新聞朝刊より)

あることならについて人々がどのような意見を持っているか、

を調べる調査を「^{ちょうさ}世論調査」と言います。

あなただったら、どのようなことを調べますか。